

別 添

交政第 136 号

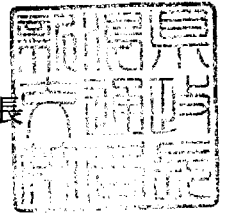
平成 22 年 3 月 12 日

独立行政法人

鉄道建設・運輸施設整備支援機構

鉄道建設本部新幹線部長 様

新潟県交通政策局長



平成 21 年度北陸新幹線建設負担金の繰越に対する申入れ

平成 21 年度の標記負担金については、現在 121 億円を計上しているところです。

年度末を迎え、その負担金の執行に関し、事業主体である貴機構から、本年度 6 月議会にて本県が協力することとした国経済対策にかかる補正予算 15 億円を中心に、最大で 33 億円程度の繰越が想定されるとの連絡がありました。

標記負担金の繰越については、例年、多少なりとも発生しているところではありますが、国経済対策にかかる補正予算については、目標年次どおりの確実な開業に向け、工事を前倒しで早期に執行する必要があるとの説明であったにも拘らず、結果として翌年度に繰り越されてしまうのは、不可解な感が免れません。

いずれにいたしましても、新年度における円滑な事業の実施のため、貴機構は早急に負担金の支払根拠となる協定等の協議を行うなど、真摯な対応をとるよう申し入れます。